

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 栄光会 からすたろうの学び家elua		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 3日		～ 令和8年 2月 9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 3日		～ 令和8年 2月 9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・土曜日に開所している。	・当事業所は土曜日も開所しており、利用児の都合や保護者の就労に合わせた利用にも対応しています。この柔軟性により、家庭負担の軽減と安定した通所が実現できています。	・季節の行事や体験型プログラムを取り入れ、平日にはできない活動の機械を更に提供していきます。
2	・多機能型の事業所のため、継続的な切れ目のない支援を行うことができる。	・未就学児から就学へと進級しても、信頼関係の構築された職員による対応で安心安全な居場所を提供することができている。 ・同法人母体のこども園で保育士をしていた職員が所属しており、乳幼児からの子どもの様子を知っているため、成長発達の様子を細かく把握し、見守る体制が整っている。	・個々の発達段階や特性に配慮した支援を行えるよう、こどもにとって今何が必要かを見極めてチームで継続的な支援をしていきたい。 ・成人しても、いつでも立ち寄れるような事業所でありたい。
3	・多彩で経験豊富な人材を職員として配置している。	・小学校教諭や高校教諭の経験、また、書きの先生としてのキャリア、陶芸を学んでいる職員など、今までの経験により、発達に特性のあるこどもに対しての接し方の土台ができしており、対応方法の共通理解がある。	・専門性の高いスタッフが保護者からの相談に対応することで、家庭とのさらなる連携や安心感の向上を図っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・2025年6月1日に第2の事業所として開所したばかりで、障害児福祉サービスの運営に係る事務や様々な提出書類を作成していかなければいけない段階にある。	・手順や役割分担が定着していない状況の為、改善に向けた取り組みを計画中である。	・職員間で業務内容を把握し、優先順位を決め、一つひとつ丁寧に業務を進めていきたい。
2			
3			